



地域医療のカタチ

# 脳神経外科と脳神経内科 両診療科の円滑な連携で 救急を中心に神経系疾患に対応

医療法人 ラポール会のグループ病院として、脳神経疾患を専門に担当している青山脳神経外科病院。2024年4月に関西医科大学から副理事長として浅井先生を迎え、更に充実する同院の現状について、西井副院長と共に伺った。



医療法人 ラポール会 青山脳神経外科病院  
西井 誠 副院長 浅井 昭雄 副理事長

## 青山脳神経外科病院の現状

### 脳神経外科・内科が揃い 特殊な治療にも対応

「当院は、脳卒中をはじめとする救命救急診療を中心に対応している病院ですが、脳の病気はそれ以外にも意識障害やてんかん、髄膜炎など様々です。南河内の医療圏で、脳神経外科と脳神経内科が揃って診療をしている屈指の病院である事が、大きな特徴となっています」と話す西井副院長。藤井寺市と羽曳野市の医師会と連携しながら、地域の脳疾患に対応する同院。医師会の勉強会や地域住民を対象としたふれあい教室などを通して、顔の見える密な関係性を構築している。「脳の2診療科があり、大学病院や総合病院に劣らない診療を提供できています。アルツハイマー病の治療薬であるレカネマブの投与、脳腫瘍の治療、パーキンソン病などの特殊な治療にも対応しています」。



MIR2台とマルチスライスCT、頸動脈エコーを完備している青山脳神経外科病院。充実した設備によって、迅速な検査にも対応できるのが同院の強みのひとつとなる。

## 今後の課題と地域貢献

### 浅井副理事長を迎えて 更なる診療体制を確立

藤井寺市民病院が3月に閉院することにより、地域にかけがえのない病院として貢献が期待される同院。4月に関西医科大学から副理事長として迎える浅井先生にかかる期待が大きい。「救命救急医療を提供しようと思うと病院内のマンパワーが重要になります。救急に対応する脳外科医はもちろん、救急に興味のある神経内科医をこれまでのネットワークを駆使して集められたらと考えています。マンパワーを増やすことで地域のニーズに応えられる規模の施設にしていきたいことが私の使命です」と話す浅井副理事長。外科と内科の両診療科が密接に連携し、看護スタッフや放射線技師なども交えて定期的に勉強会を開催。チーム全体で脳卒中救急への理解を深め、チーム丸となって対応している。

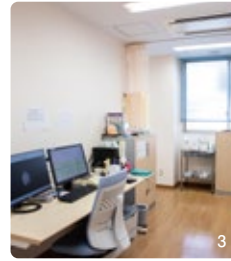
## 今後の目標とメッセージ

### 紹介状なしに気軽に診療 グループ全体で対応する

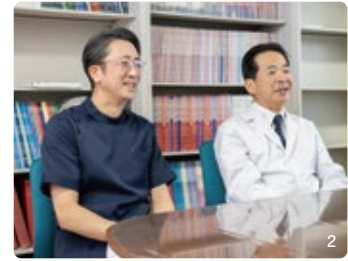
「当院では、神経難病の診療経験豊富な医師(難病指定医)による神経難病センターやもの忘れ外来も設置。また、手足の痺れや眩暈、頭痛などの症状を感じたら、紹介状なしで診療が行えますのでお気軽にご相談ください」と話す西井副院長。気軽に脳神経の専門医に診療してもらえるのが最大の利点となる。「この規模の病院でMRIが2台あることから、迅速な検査ができる点も強みです。慢性疾患や後遺症を抱える患者さんに対しては、グループ内の訪問診療やリハビリを提供。他の疾患を抱えている場合にもグループ内で円滑に連携して治療を行います」。浅井副理事長がそう話すように、今後も脳疾患を中心に、グループ全体で藤井寺市民の健康維持への貢献が期待される。



1.医師会と連携しながら、脳神経外科と脳神経内科の専門医によるチーム医療によって、脳から脊髄、神経まで、すべての神経系疾患の診断、治療を行う。  
2.2024年4月に関西医科大学から迎えられた浅井副理事長と院内の診療を束ねる西井副院長の連携に期待が高まる。  
3.4つの診療室で脳神経外科と神経内科の外来診療を行う。  
4.病棟には、個室6室、特室2室、集中治療室6床、広々とした4人部屋8室と2人部屋2室を完備。



3



2



2024年3月に藤井寺市民病院が閉院することにより、地域唯一の病院として地域医療への貢献がますます期待される。

hospital data

医療法人 ラポール会 青山脳神経外科病院 / TEL:072-953-1211 藤井寺市野中2-91 <https://www.aoyama-med.gr.jp/medical-rapport/aoyama-neuro/>

医療詳細ページ有り ●●●P